

令和6年度下半期重要施策の定期報告について

(2) コメ輸出による新たな販路開拓について

(担当：農政課)

奥州市産米の販路開拓を目的とし、JA江刺の協力を得て「ひとめぼれ5キロパック」を令和6年4月からオーストラリアにテスト輸出・販売しております。はじめに卸業者2社へ計1.2tを出荷し、昨年11月には市職員及びJA職員を現地に派遣して、日本食レストランや卸業者への販促活動を実施した結果、追加の注文を受注しています。

1 出荷状況(追加分)

出荷日	出荷量	出荷先	販売方法	販売見込	発注業者
令和7年 1月9日	1.0トン (200袋)	シドニー	ネット販売	4月中旬から販売予定	A社
1月14日	0.4トン (80袋)	シドニー	店頭販売	4月中旬から販売予定	B社
4月初旬予定	1.0トン (200袋)	メルボルン	ネット販売		A社

当初に出荷した1.2t及び出荷予定分も含めて計3.6t(720袋)を輸出

2 現状と課題

オーストラリアでは人件費や物価が高騰しており、高価格の日本産米をレストラン又は小売店に売り込むのは簡単ではありません。また、日本産米はどれもおいしく安全のイメージが強く、日本の他産地との差別化も難しい状況です。

日本人オーナーや料理人の中には日本産米を好む人も多く、奥州市産米の味や品質にマッチする料理人もいることから、継続して販促活動の実施やイベントに参加し、奥州市産米の認知度を高めていく必要があります。

日本国内では米の品薄状態や価格上昇により、国内流通を優先する見方もありますが、国の方針や今後縮小が見込まれる国内需要を見据え、輸出ルートをより強固にするために取り組みを進めます。

3 今後の予定

夏頃に再び職員を現地に派遣し、日本食品を扱うスーパーでの店頭試食販売及び日本食レストランへの販促活動を実施予定